

第5次町田市農業振興計画 計画体系について



基本目標

基本目標Ⅰ

市内産農産物のファンを増やし、消費を拡大する

基本目標Ⅱ

市内農業の生産を拡大し、収益を高める

基本目標Ⅲ

農業を続ける環境をまもる

施策と取組

基本目標Ⅰ 市内産農産物のファンを増やし、消費を拡大する

施策① 市民が気軽に市内産農産物を購入できる環境の整備

市内産農産物の消費を拡大するため、市民、特に買い物の時間が取れない子育て世帯等が、気軽に市内産農産物を購入できる環境を整えます。また、市内産農産物のPRを積極的に行うとともに、学校給食や市内飲食店等での活用量を増やすことで、消費拡大につなげます。

指標	2025年度末実績	2036年度末目標値
1か月に1回以上まち☆ベジを購入する市民の割合	26% (町田ちょこっとアンケート ※26年度もアンケート調査実施)	90%

施策と取組

基本目標Ⅰ 市内産農産物のファンを増やし、消費を拡大する

＜施策① 主な取組内容＞

取組名	内容
まち☆ベジPR事業 【重点】	「まち☆ベジ」マークを活用し、情報誌の作成やSNSでの情報発信を通じて、安全安心で新鮮な市内産農産物のPRを進めます。
市内産農産物流通促進事業 【重点】	市内にある子ども関連施設を活用して市内産農産物の流通促進を図り、子育て世帯等が気軽に購入できる環境を整えます。
まち☆ベジ活用促進事業	市内産農産物を活用する飲食店や加工品販売店を増やし、市内産農産物の消費を拡大します。
学校給食食材供給事業	市立小学校及び中学校の給食での市内産農産物の供給量増加と食育の推進を図ります。

施策と取組

基本目標Ⅰ 市内産農産物のファンを増やし、消費を拡大する

施策② 市民が農体験を楽しむことができる機会の拡充

市民が市内産農産物、ひいては町田の農業をもっと知り、ファンになってもらうため、収穫体験や農業体験の実施、直売所での農産物購入、農に関するイベントの実施など、市民が気軽に農を体験できるような機会を拡充します。

指標	2025年度末実績	2036年度末目標値
農に関するイベント等に参加したことがある 市民の割合	— (26年度にアンケート調査実施)	〇〇%

施策と取組

基本目標Ⅰ 市内産農産物のファンを増やし、消費を拡大する

＜施策② 主な取組内容＞

取組名	内容
農業体験事業	町田市農業祭や米作り農業体験などの農に関するイベントを実施し、市民が気軽に農を体験できる機会を拡充します。
体験型農園開設支援事業	市内農業者に農家開設型市民農園や収穫体験農園、農業体験農園などを開設してもらうことで、身近に農業がある暮らしを目指します。
ふるさと農具館事業	展示や体験を通して、市内農業に関する知識や関心の向上を図ります。また、町田薬師池公園四季彩の杜の計画に合わせて、施設の在り方を検討します。
七国山景観作物協定事業	年間を通して景観作物(菜の花・ひまわり・そば等)を栽培することで、来訪者に農の風景を楽しんでもらうとともに昔から続く風景を維持します。

施策と取組

基本目標Ⅱ 市内農業の生産を拡大し、収益を高める

施策① 安全安心な農産物の安定的生産の支援

市内産農産物をもっと多くの市民に届けるため、年間を通じて市内農業者が安定的に生産できる環境を整えます。また、ビニールハウス等の施設整備やスマート農業といった生産を拡大する取組を支援し、収益の向上につなげます。

指標	2025年度末実績	2036年度末目標値
JA町田市農産物直売所「アグリハウス」の売上額	約244,381千円 (2024年度)	約〇〇千円 (2035年度)

施策と取組

基本目標Ⅱ 市内農業の生産を拡大し、収益を高める

＜施策① 主な取組内容＞

取組名	内容
農業生産基盤強化促進事業 【重点】	生産拡大に必要な経営効率化や生産量向上に資する施設の整備、機械機器やICTの導入を支援します。
堆肥流通促進事業	市内畜産農家が生産する堆肥を購入する経費を補助することで、市内産堆肥の流通促進を図るとともに、安全安心で環境にやさしい農産物の生産に取り組む農業者を支援します。
伝染病予防事業	畜産農家が安定的に農業経営していけるよう、畜舎の衛生管理や家畜伝染病予防の取組を支援します。
獣害防止対策事業	関係団体と連携して農地へ箱罠やくくり罠を設置し、加害獣の捕獲・駆除を行うことで、農産物への被害減少を図ります。

施策と取組

基本目標Ⅱ 市内農業の生産を拡大し、収益を高める

施策② 新たな担い手の育成・支援

市内産農産物の生産を拡大するため、農業後継者や新規就農者のほか、援農ボランティア、農業関連以外の事業者等、幅広い主体を市内農業の新たな担い手として考え、育成・支援を行います。

指標	2025年度末実績	2036年度末目標値
新たな担い手の数	新規就農者【※】 3名 援農ボランティア 10名 (単年度)	30名 100名 (累計)

※ここでいう「新規就農者」とは、町田市農業研修事業修了後に新規就農した方、東京農業アカデミーを終了して新規就農した方、農業後継者として就農した方を指します。

施策と取組

基本目標Ⅱ 市内農業の生産を拡大し、収益を高める

＜施策② 主な取組内容＞

取組名	内容
担い手育成事業 【重点】	各種研修を実施することで、新規就農者や援農ボランティアなどの市内農業の担い手を育成します。
異業種・異分野連携事業	福祉分野をはじめ、観光、商業、教育、健康、環境など、さまざまな業種や分野と連携することで、農産物の価値を高めるとともに、新たな担い手の確保を目指します。

施策と取組

基本目標Ⅲ 農業を続ける環境をまもる

施策① 市内農地の維持・活用

農地を農地として維持していくために、農業者の高齢化や担い手不足によって増加している遊休農地について、農家開設型市民農園や体験農園の開設支援、新たな担い手へのあっせんや貸借支援を行い、今ある農地を活用をしていきます。

指標	2025年度末実績	2036年度末目標値
市内の経営耕地面積	157ha	150ha

施策と取組

基本目標Ⅲ 農業を続ける環境をまもる

＜施策① 主な取組内容＞

取組名	内容
農地あっせん事業	市街化調整区域において、農地バンク及び担い手バンクへの登録を図り、農地貸借のマッチングを行います。
生産緑地貸借促進事業 (都市農地貸借円滑化事業)	生産緑地において、町田市農業協同組合と連携し、農地貸借のマッチングを支援します。
体験型農園開設支援事業 【再掲】	市内農業者が農家開設型市民農園や収穫体験農園、農業体験農園などを開設することを支援します。

施策と取組

基本目標Ⅲ 農業を続ける環境をまもる

施策② 遊休農地の解消

農業委員と農地利用最適化推進委員による農地パトロールを実施し、市内農地の適正な活用を促進します。

指標	2025年度末実績	2036年度末目標値
農地パトロールの結果 農地の利用状況が改善した割合	81% (2025年度単年度)	毎年度90%以上

施策と取組

基本目標Ⅲ 農業を続ける環境をまもる

＜施策② 主な取組内容＞

取組名	内容
農地パトロール事業	営農すべき農地が十分に活用されていない場合、適正な管理を行うよう指導します。また、自ら耕作できない農地については、農地バンクへの登録を促します。